

## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月2日

上場会社名 株式会社TOKAIホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 3167 URL <https://www.tokaiholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小栗 勝男  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役常務執行役員 総務本部長 (氏名) 山田 潤一 TEL 054-275-0007  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年11月30日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	105,226	1.1	4,254	0.0	4,355	79.1	2,219	1,403.4
2023年3月期第2四半期	104,110	8.4	4,253	18.6	2,432	54.0	147	93.5

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 4,553百万円 (307.5%) 2023年3月期第2四半期 1,117百万円 (65.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	17.00	
2023年3月期第2四半期	1.13	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	190,820	84,800	43.3
2023年3月期	193,339	82,304	41.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 82,608百万円 2023年3月期 80,184百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		16.00		16.00	32.00
2024年3月期		16.00			
2024年3月期(予想)				16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,000	4.3	15,000	0.5	15,000	12.9	8,500	31.5	65.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
  - 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - 以外の会計方針の変更 : 無
  - 会計上の見積りの変更 : 無
  - 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	139,679,977 株	2023年3月期	139,679,977 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	9,054,519 株	2023年3月期	9,105,687 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	130,591,637 株	2023年3月期2Q	130,871,825 株

(注)期末自己株式数については、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式(2024年3月期2Q 730,500株、2023年3月期 782,100株)を含めております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式については、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式(2024年3月期2Q 764,618株、2023年3月期2Q 485,109株)を含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、円安の加速や長引くウクライナ情勢によるエネルギー価格の高騰が続いているものの、経済活動の正常化や各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、人手不足の深刻化や物価上昇の影響など、先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは新たに「中期経営計画2025」を策定し2023年5月に公表いたしました。この中期経営計画では、当社グループの持続的成長に向け①事業収益力の成長、②持続的成長基盤の強化、③人材・組織の活力最大化の3つをキーメッセージとして掲げております。

当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、グループの継続取引顧客件数は28千件増加（前年同期は49千件増加）し、3,328千件となりました。TLC会員数は30千件増加（前年同期は36千件増加）し、1,188千件となりました。グループ顧客件数の増加等により、売上高は105,226百万円（前年同期比1.1%増）となり前年を上回りましたが、高気温等による家庭用単位消費量の減少等により、営業利益は前年同期並みの4,254百万円となりました。また、持分法投資損失の負担減少等により経常利益は4,355百万円（同79.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,219百万円（同1,403.4%増）と、前年同期を大幅に上回りました。

当第2四半期連結累計期間におけるトピックスとしては、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みの一環として2023年7月に株式会社ザ・トーカイが、フィリピンにおいて再生可能エネルギー発電事業を展開するPure Energy Holdings Corporationグループに出資いたしました。

また、2023年8月には新たに三重県伊勢市にLPガス販売の営業拠点を開設し、事業基盤の拡大について順調な成果をあげております。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間よりセグメントの記載順序を変更しております。

#### (エネルギー)

LPガス事業につきましては、引き続き顧客獲得を推進した結果、需要件数は前連結会計年度末から16千件増加し762千件となりました。一方、仕入価格に連動した販売価格の引き下げや高気温等による家庭用ガス販売量の減少により、売上高は34,417百万円（前年同期比4.3%減）となりました。

都市ガス事業につきましては、需要件数は前連結会計年度末並みの75千件となりました。また、原料費調整制度の影響により、売上高は8,535百万円（同5.3%増）となりました。

これらにより、当セグメントの売上高は42,952百万円（同2.5%減）となり、営業損失は740百万円（前年同期は216百万円の営業損失）となりました。

#### (情報通信)

コンシューマー向け事業につきましては、ISP事業は大手携帯キャリアとの提携による獲得強化、モバイル事業はLIBMOのサービスメニューの拡充や固定回線とのセットプラン等により顧客獲得を推進いたしました。これらの施策の結果、ブロードバンド顧客は前連結会計年度末から1千件増加し666千件、LIBMOは前連結会計年度末から4千件増加し75千件となり、売上高は12,100百万円（同0.6%増）となりました。

法人向け事業につきましては、キャリアサービス及びクラウドサービスが順調に進捗したことにより、売上高は15,356百万円（同9.3%増）となりました。

これらにより、当セグメントの売上高は27,457百万円（同5.3%増）、営業利益は2,125百万円（同32.0%増）となりました。

#### (CATV)

CATV事業につきましては、地域密着の事業者として地元の情報発信や番組制作に注力するとともに、大手動画配信事業者と提携する等コンテンツの充実に向けてまいりました。また、営業活動を積極的に実施したことで、放送サービスの顧客件数は前連結会計年度末から3千件増加し916千件、通信サービスの顧客件数は前連結会計年度末から11千件増加し384千件となりました。

これらにより、当セグメントの売上高は17,732百万円（同7.0%増）、営業利益は2,795百万円（同2.6%増）となりました。

(建築設備不動産)

建築設備不動産事業につきましては、設備工事案件や設備機器販売の受注遅れ等により、当セグメントの売上高は10,943百万円(同4.7%減)、営業利益は203百万円(同10.6%減)となりました。

(アクア)

アクア事業につきましては、新たに浄水サーバーの取り扱いを開始し、更なる顧客基盤の拡充に取り組みました。また、大型商業施設等での催事営業やWEB獲得、テレマーケティング等の非対面営業により、顧客件数は前連結会計年度末から1千件増加し166千件となりました。

これらにより、当セグメントの売上高は3,883百万円(同1.2%増)、営業利益は192百万円(同140.3%増)となりました。

(その他)

その他の事業のうち、介護事業につきましては利用者数が増加したことにより、売上高は697百万円(同0.4%増)となりました。船舶修繕事業につきましては、修繕隻数が増加したことにより、売上高は637百万円(同9.6%増)となりました。婚礼催事事業につきましては婚礼、宴会事業ともに回復がみられ、売上高は549百万円(同37.9%増)となりました。

これらにより、当セグメントの売上高は2,257百万円(同8.7%増)となりましたが、船舶修繕事業にかかる原価の増加等により、営業損失は47百万円(前年同期は23百万円の営業利益)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は190,820百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,518百万円の減少となりました。これは主として、デリバティブ評価差額資産の増加等により流動資産「その他」が1,828百万円、投資その他の資産「その他」が1,463百万円、有形固定資産が1,009百万円、現金及び預金が896百万円、それぞれ増加した一方で、季節的要因等により受取手形、売掛金及び契約資産が7,677百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は106,020百万円となり、前連結会計年度末と比較して5,014百万円の減少となりました。これは主として、短期借入金1,756百万円増加した一方で、季節的要因等により支払手形及び買掛金が4,367百万円、流動負債「その他」が2,643百万円、それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産合計は84,800百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,496百万円の増加となりました。これは主として、剰余金の配当2,101百万円を実施した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益2,219百万円を計上したことに加え、繰延ヘッジ損益が1,490百万円、その他有価証券評価差額金が760百万円、それぞれ増加したこと等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。 )は、前連結会計年度末から1,058百万円増加し5,086百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、13,765百万円の資金の増加(前年同期比+5,808百万円)となりました。これは仕入債務の減少、法人税等の支払等により資金が減少した一方で、税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少及び非資金項目である減価償却費等の要因により資金が増加したことによるものであります。

また、前期に比べて営業活動によるキャッシュ・フローが大幅に増加しておりますが、これは売上債権の減少額の増加及び棚卸資産の増加額、法人税等の支払額がそれぞれ減少したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、9,704百万円の資金の減少(同△2,843百万円)となりました。これは有形及び無形固定資産の取得に加え、有価証券の取得による支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、3,018百万円の資金の減少(同△1,309百万円)となりました。これは借入金による資金調達等の一方で、借入金及びリース債務の返済、配当金の支払等を行ったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね予定通り進捗しており、2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月9日に公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,359	5,256
受取手形、売掛金及び契約資産	29,899	22,222
商品及び製品	5,448	5,360
仕掛品	1,130	1,572
原材料及び貯蔵品	1,589	1,522
その他	9,850	11,679
貸倒引当金	△454	△440
流動資産合計	51,824	47,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	36,188	36,563
機械装置及び運搬具（純額）	26,038	26,067
土地	24,841	24,884
その他（純額）	23,316	23,878
有形固定資産合計	110,384	111,394
無形固定資産		
のれん	5,904	5,814
その他	4,588	4,404
無形固定資産合計	10,492	10,219
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	4,092	4,122
その他	16,785	18,248
貸倒引当金	△243	△338
投資その他の資産合計	20,634	22,032
固定資産合計	141,511	143,645
繰延資産	3	3
資産合計	193,339	190,820

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,801	15,434
短期借入金	15,753	17,509
未払法人税等	2,247	2,007
その他の引当金	1,570	1,815
その他	21,673	19,029
流動負債合計	61,046	55,796
固定負債		
長期借入金	30,855	30,758
その他の引当金	342	295
退職給付に係る負債	1,377	1,445
その他	17,412	17,723
固定負債合計	49,988	50,223
負債合計	111,034	106,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,000	14,000
資本剰余金	25,566	25,566
利益剰余金	38,526	38,644
自己株式	△2,601	△2,561
株主資本合計	75,492	75,650
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,458	2,218
繰延ヘッジ損益	—	1,490
為替換算調整勘定	741	916
退職給付に係る調整累計額	2,492	2,332
その他の包括利益累計額合計	4,692	6,958
新株予約権	36	50
非支配株主持分	2,083	2,141
純資産合計	82,304	84,800
負債純資産合計	193,339	190,820



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	104,110	105,226
売上原価	64,874	64,715
売上総利益	39,236	40,510
販売費及び一般管理費	34,982	36,255
営業利益	4,253	4,254
営業外収益		
受取利息	10	5
受取配当金	122	133
受取手数料	14	13
その他	192	172
営業外収益合計	339	325
営業外費用		
支払利息	132	147
持分法による投資損失	1,963	37
その他	64	39
営業外費用合計	2,160	224
経常利益	2,432	4,355
特別利益		
固定資産売却益	27	167
投資有価証券売却益	64	—
伝送路設備補助金	60	23
補助金収入	3	2
特別利益合計	156	193
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	401	597
投資有価証券評価損	314	33
特別損失合計	716	630
税金等調整前四半期純利益	1,873	3,918
法人税、住民税及び事業税	1,614	1,831
法人税等調整額	22	△199
法人税等合計	1,637	1,632
四半期純利益	236	2,286
非支配株主に帰属する四半期純利益	88	66
親会社株主に帰属する四半期純利益	147	2,219

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	236	2,286
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	516	760
繰延ヘッジ損益	—	1,490
為替換算調整勘定	△2	10
退職給付に係る調整額	△161	△159
持分法適用会社に対する持分相当額	529	165
その他の包括利益合計	881	2,267
四半期包括利益	1,117	4,553
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,025	4,486
非支配株主に係る四半期包括利益	91	67

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,873	3,918
減価償却費	7,498	7,800
のれん償却額	489	483
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△204	△189
受取利息及び受取配当金	△132	△139
投資有価証券売却損益(△は益)	△64	—
支払利息	132	147
持分法による投資損益(△は益)	1,963	37
固定資産売却損益(△は益)	△27	△167
投資有価証券評価損益(△は益)	314	33
固定資産除却損	401	597
売上債権の増減額(△は増加)	5,625	8,127
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2,471	△26
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,310	△4,377
その他	△1,992	△1,006
小計	11,094	15,239
法人税等の支払額	△3,137	△1,474
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>7,956</b>	<b>13,765</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
利息及び配当金の受取額	172	165
有価証券の取得による支出	△1,150	△1,014
有価証券の売却による収入	95	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△6,699	△8,663
有形及び無形固定資産の売却による収入	251	504
貸付けによる支出	—	△560
貸付金の回収による収入	601	6
その他	△132	△142
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△6,861</b>	<b>△9,704</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
利息の支払額	△135	△151
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,300	1,784
リース債務の返済による支出	△2,294	△2,417
長期借入れによる収入	5,950	5,400
長期借入金の返済による支出	△5,288	△5,525
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,231	△2,099
その他	△8	△9
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△1,709</b>	<b>△3,018</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	5	16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△608	1,058
現金及び現金同等物の期首残高	4,447	4,028
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,838	5,086

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの記載順序を変更しております。これに伴い、前第2四半期連結累計期間の報告セグメントの記載順序を同様に變更しております。

I 前第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー	情報通信	CATV	建築設備 不動産	アクア	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	44,053	26,078	16,574	11,486	3,838	102,033	2,077	104,110	—	104,110
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	98	2,038	245	479	125	2,987	177	3,165	△3,165	—
計	44,152	28,117	16,820	11,966	3,964	105,021	2,254	107,276	△3,165	104,110
セグメント利益 又は損失 (△)	△216	1,609	2,724	227	80	4,425	23	4,449	△195	4,253

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、婚礼催事事業、船舶修繕事業、介護事業、保険事業等を含んでおります。  
 2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。  
 3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エネルギー	情報通信	CATV	建築設備 不動産	アクア	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	42,952	27,457	17,732	10,943	3,883	102,968	2,257	105,226	—	105,226
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	78	2,692	209	475	139	3,595	164	3,760	△3,760	—
計	43,030	30,150	17,941	11,419	4,022	106,564	2,422	108,986	△3,760	105,226
セグメント利益 又は損失 (△)	△740	2,125	2,795	203	192	4,576	△47	4,529	△274	4,254

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、婚礼催事事業、船舶修繕事業、介護事業、保険事業等を含んでおります。  
 2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、主にセグメント間取引消去であります。  
 3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。